

2023年11月05日

「真に戦うべき対象」

パウロが語った「霊的戦い」は、これまでの人類の歴史には記されたことのなかったものです。ふつう、「戦い」と言えば、一つの民族が他の民族を征服し、捕虜として捕らえて奴隷にし、金額を奪い取る形の戦いのことをいいます。このような物理的な戦いということばに慣れている人々は、パウロが語った霊的戦いについてのことばを、作りごとのように感じるかもしれません。彼が語った概念を理解することができず、実感も湧いてこないかもしれません。

しかし、霊的戦いは厳然とした現実です。私たちの人生の全領域には、悪魔の狡猾な悪巧みが非常に広く、また深く分布しています。悪魔は夫と妻の関係、親と子の関係、上司と部下の関係を破壊し、よこしまで邪悪な方法で人間関係の分裂をたくらみます。

問題は、悪魔の悪しき働きは私たちの目には見えないということです。それで、人々は悪魔と霊的戦いをしても、ただ敗北するしかないので。その結果、夫婦は互いに敵となって、破局を迎え、親と子は敵のような関係になり、上司と部下は激しく対立するようになります。

目に見える現象を因果関係の枠組みの中でのみ判断するなら、夫と妻、親と子、上司と部下が敵同士になり、目の前の相手を怒りと憎悪の剣で刺すような愚を犯すようになります。

ですから、私たちは互いを敵対させようと背後で操って楽しんでいる悪魔の悪巧みを読み取り、誘惑されないように目覚めていなければなりません。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ 「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

今週の礼拝メッセージ

岩井牧師

タイトル

「弱くされる恵み」

聖書箇所

使徒の働き 18:1~17

アテネでの伝道には願ったような成果がなかったパウロは、少なからず失望感を抱きつつ、アカヤ地方最大の町コリントに来た。

コリントは当時人口 30 万を超える大商業都市であり、西のローマからも東のアジアからも多くの人々がやって来ていた。しかし、コリントは何よりも町全体がまるで歓楽街と言ってもいいほど不道德の蔓延した町であった。この町をただひとりで訪れたパウロの心は、言葉にならないほどの不安や恐れを感じていたようである。

1. 弱さを覚えたパウロ

Ⅱコリント 7:5

Ⅱコリント 12:9-10

2. 神の励ましと助け

① アキラとプリスカとの出会い

*この夫婦はパウロにとって最高の協力者となった
使 18:26 彼は会堂で大胆に語り始めた。それを聞いたプリスカとアキラは、彼を脇に呼んで、

神の道をもっと正確に説明した。

ローマ 16:3 キリスト・イエスにある私の同労者、プリスカとアキラによろしく伝えてください。

16:4 二人は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれました。

② 主の励まし (幻によって) 9-10

③ 伝道の実 (信じて救われる人が次々起こされた) 8

3. パウロの信仰の応答

1年6ヶ月間、腰を据えて伝道を続けた 11

毎日の信仰告白

「恐れるな、喜べ。もっと喜べ、
今最高に喜べ、感謝せよ、主にあつて
主イエス様を信じる私に、今日も良いことがあります
主イエス様を信じる私に、今日も美しいことが始まります
神は善にして善を行なわれます
マイナスはプラスに 不可能は可能に
全て相働いて益とされます
わたしは恐れ退いて滅びる者ではありません
信じていのちを保つ者です
私と私の家族はみな救われます。ハレルヤ」

《報 告》

- ※ 本日午後1時から今月の役員会をもちます。
- ※ 来週と再来週は「KBIを覚える日」の奉仕のために、神学生の泉田兄は初めての教会に派遣され、メッセージの奉仕を行います。お祈りください。
- ※ 今週火曜日夜7時半から「イエスに出会うバイブル・トーク・ペテロ」をオンラインで行います。
「イエスに出会うバイブル・トーク」は現在、6つのグループで、月に1回あるいは2回持っています。まだ参加されていない方で新しく参加希望の方を歓迎します。希望される方がおられましたら牧師まで伝えて下さい。
- ※ 毎朝、早天祈禱会を行っています。6時半からはイスラエルを覚えて共に祈るときをもっています。10月7日のハマスによるイスラエルへの奇襲攻撃以来、世界的に反ユダヤ主義が激しくなっています。危機的な状況にあるイスラエルのために執り成しの祈りを捧げて参りましょう